

パソコンを狙った詐欺

JJ1SXA/池

パソコンを狙った詐欺は身近なところから忍び寄る。
フィッシング詐欺、迷惑ソフト、ワンクリック詐欺、非正規ソフト等々、詐欺の手口は多彩で巧妙。

こうなったら、フィッシング詐欺に引っかかった疑いあります

- 1、不正利用があったとカード会社から連絡があった
- 2、身に覚えのない買い物が明細に書かれていた
- 3、カードを使おうとしたら限度額に達していた
- 4、海外で利用されていた形跡がある
- 5、電子マネー、仮想通貨が買われていた

不正利用が発覚したらすぐにすべきこと

本当に身に覚えが無い請求かを確認する

↓

カードを停止(新しいカードの発行)

↓

警察に届ける(カード会社によって必要)

↓

不正利用の調査・保証を申し込む

↓

不正利用と判明すれば返金される

カード会社によって遡れる期間が決まっている

アメリカン・エクス・プレス・カード、dカード/dカードゴールド…90日以内

イオンカード…61日以内

JCBカード、三菱UFJニコス、三井住友カード、セディナカード、楽天カード、

オリコカード…60日以内

詐欺の入口は偽メール、これを見抜くことが大事、メールアドレスがそれらしい、リンクのURLも尤もらしい、「別の文字に置き換える」「見分けが付きにくい文字に置き換える」という手法だ。

別の文字に置き換えている例

amazon→amazonone amezon amazan

見分けが付きにくい文字に置き換えている例

google→googIe (小文字)のl(エル)を(大文字)のI(アイ)

apple→appLe (小文字)のl(エル)を(大文字)のL(アイ)
microsoft→rnicrosoft mがrとnに
amazon→Amazon (半角の)aを(全角の)Aに

違いを判別できない文字に置き換えている例

google→go o gle oがo (ギリシャ文字のオミクロン)
apple→a ρ ρ le pがρ (ギリシャ文字のロー)
amazon→amaz σ n oがσ (ギリシャ文字のシグマ)

ブラウザ上の「鍵マーク(通信内容の暗号化)」も最近では、通じない、身元確認が不要といった抜け穴を利用することで、詐欺師でも容易に「鍵マーク」を取得出来てしまうのだ。

アカウントの**2段階認証**を有効にしておけば、普段と違う端末からサインイン(第1認証)があると、認証コードが自分のSMSに届く、当該スマホを持っていない第三者はサインインできない

2段階認証の設定の例

マイクロソフトアカウント

<https://login.live.com>からサインイン

「セキュリティ」→「その他のセキュリティオプション」→「2段階認証のセットアップ」とクリックして進める

認証方法で「電話番号」を選び、携帯電話番号を入力
携帯電話のSMSに届いた認証コードをサイト上に入力

グーグルアカウント

<https://accounts.google.com/>からログイン

「セキュリティ」→「2段階認証プロセス」とクリックして進める

携帯電話番号を入力

携帯電話のSMSに届いた認証コードを入力

迷惑ソフト

ウェブ閲覧中に突然、「ウイルスに感染しています」と警告が表示され、言われるがままにボタンを押して、出所が定かでないウイルス対策ソフトをインストール、スキャンの結果、大量のウイルスが検出されたの表示、これは、名ばかりの有料ソフトを買わせるために作られた宣伝だ。

結論は、「大量のウイルス発見は嘘！」騙されて買わない事、でも騙されてインストールすると厄介なことになる、アンインストールも容易でない、どうしてもうまくアンインストール出来なければ、無料ソフト「レボアンインストーラーフリー」のお世話になりましょう、このソフトのアンインストール機能は強力で、失敗しない上、迷惑ソフトの痕跡まで消去できる。

ワンクリック詐欺

無料のアダルト動画や画像を装ったリンクをクリックすると、いきなりウェブページが切り替わって「登録完了」と表示され、法外な金額を請求、これがワンクリック詐欺だ、無視するのが鉄則、ページ内にある電話番号やメールで連絡して個人情報を教えるのは厳禁。

非正規ソフト

激安価格に「罨」が仕掛けられている、高額で、量販店などでセール品に滅多にならないものが、ショッピングサイトでこれらが極端に安く売られていることがある。

激安ソフトは非正規品の疑いがあり、インストールしてもライセンス認証ができず、利用できない恐れがある、非正規かどうかは価格だけでは断定できないが、判断材料だ、量販店などに比べて極端に安い場合は疑ったほうが良い。

以上、フィッシング詐欺、迷惑ソフト、ワンクリック詐欺、非正規ソフト等について解説しましたが、省略しているところも有ります、各自、自己責任で、詐欺に引っかからないようにしましょう。

21,Mar,2019 記

この記事は、(http://www.inv.co.jp/~ike/top_ol-7.html)の中に「SWAY-7(パソコンを狙った詐欺)」でSWAYの記事として発表済みのものです。